

11月の地場産物

次のヒントから、11月の給食に登場する地場産物を見つけてみてね。

①この建物のなかで育てられています。



②広島県では、「広島」^{もと}「元就」^{なり}、「比婆」^{じん}「神石」^{せき}の4種類が、代表的なものです。



※^{こた}には、^{かん}答えに^{おな}関する^{おな}同じ漢字が入ります。

③こんなえさを食べて大きくなります。



わら



おぎ
麦や
とうもろこし
など

じかせい ぼくそう
自家製の牧草



④とれる肉の質や量によって、「A3」や「A5」などに、ランク分けされます。



もうわかったかな？
答えはめくってみてね！

こた ひろしまわぎゅう
答え：広島和牛

※1枚目の②には、
漢字の「牛」が
入ります。

こうだちょうすくもじ てらお やく
甲田町稼地の寺尾さんは、約50

とう ひいくよう にく た
頭の肥育用（肉を食べるため）の

うし うし う ははうし
牛と、その牛を産むための母牛

やく とう しいく むかし
約30頭を飼育されています。昔

ちくさん きょうみ ねんくらいまえ
から畜産に興味があり、30年位前

いま ぼくじょう うし せわ
から、今の牧場で牛たちの世話をされているそうです。

い もの かが しごと やす まいにち
生き物と関わる仕事なので、もちろん休みはありません。毎日の

えさやりはもちろん、ぎゅうしゃ そうじ うし た ぼくそう せわ
えさやりはもちろん、牛舎の掃除や、牛たちが食べる牧草の世話、

ひづく しごと
たい肥作りなどたくさんの仕事があります。そのひとつひとつに、

うし あいじょう こ つた
牛たちへの愛情が込められているのが伝わってきました。



うし う ねんはん
牛たちは、生まれてから2年半で、
にくぎゅう しゅつか
肉牛として出荷されていきますが、
たいせつ いのち
その大切な命をもらっていることを、
あらた かん
改めて感じさせられました。

びょうき
牛が病気になったりしない
ように気をつけながら、まいにち
世話をしています。
ひと
人なっつこい牛もいれば、
すこ しょうちゃん しょう
少しやんちゃな牛もいます。
いっとう
一頭ずつみんなちがって、
それぞれかわいいです。



てらお ゆうこ
寺尾 優子さん

てらお まさとし
寺尾 正敏さん

大切に育てて
もっているよ。